

## 函館市観光基本計画の目標値

### (1) 計画の目標値

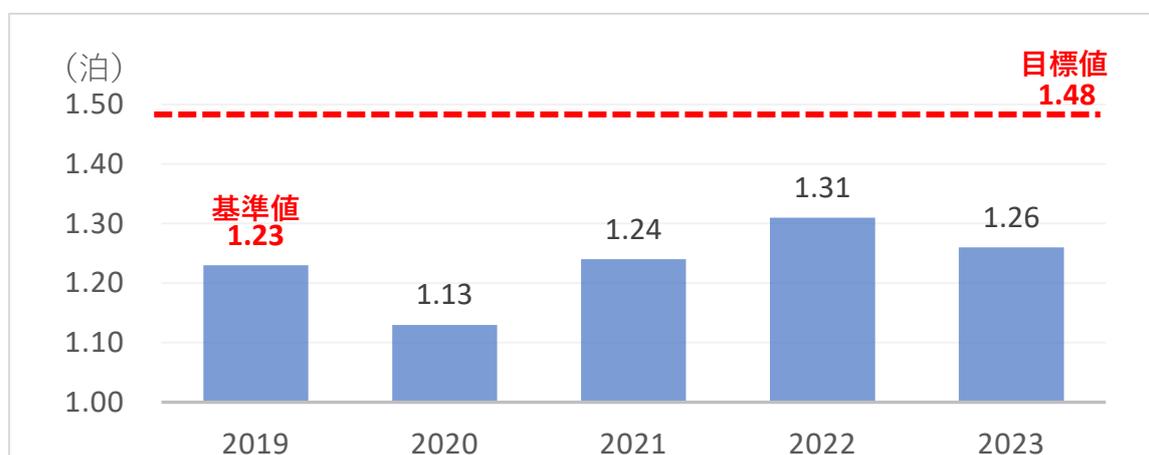
函館市観光基本計画では、4つの基本方針で掲げた取組みの達成指標を設定し、下記のとおり2028年度までの目標値を定めた。基本方針3・4については、目標値が未設定となっているため、函館市民および観光客に対しアンケートを実施し、基準値・目標値となる数値を設定する必要がある。

基本方針		達成指標	基準値	目標値
1	質の高い観光により 観光消費額を向上させる	平均宿泊数	1.23	1.48
2	観光の繁閑差を是正する	平準化指数	0.58	0.63
3	函館観光を盛り上げる人を 増やす	函館観光に関わる取組みに 「参加する」市民	※未設定	
		函館観光を「ぜひ勧めたい」 と考える観光客	※未設定	
4	観光を通じて函館が潤う地 域づくりを進め、観光への 市民理解を促進する	市民の観光への理解度	※未設定	

### 基本方針1 平均宿泊数

目標：コロナ禍前から20%増加を目指す

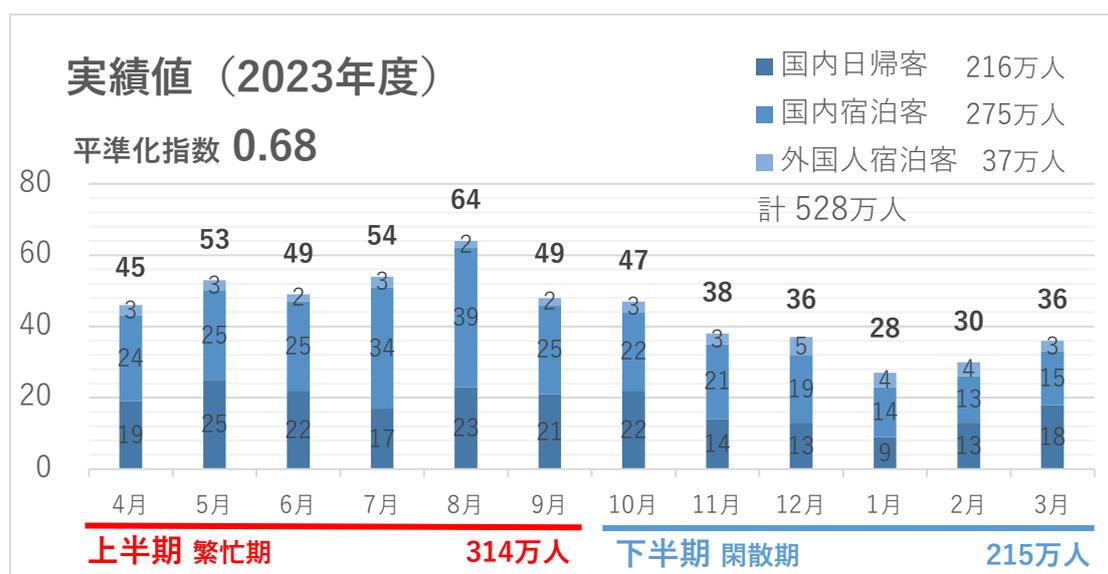
基準値	目標値	実績値	計測方法
1.23 (2019年度)	1.48 (2028年度)	1.26 (2023年度)	『来函観光入込客数推計』における 宿泊客数 延べ人数÷実人数＝平均宿泊数



## 基本方針 2 平準化指数

目標：上半期の観光入込客数はコロナ禍前水準を維持，  
下半期の観光入込客数を増やすことで平準化を進める

基準値	目標値	実績値	計測方法
0.58 (2017~2019 年度の平均値)	0.63 (2028年度)	0.68 (2023年度)	『来函観光入込客数推計』における 月別観光入込客数 $\text{閑散期} \div \text{繁忙期} = \text{平準化指数}$ (10~3月計) (4~9月計)



## (2) 未設定の目標値について

目標値が未設定である基本方針3・4については、令和6～7年度に函館市民および観光客に対しアンケートを実施し、基準値となる数値を測定、事務局において目標値の検討を行ったうえで、本会議に諮り決定したい。

各達成指標の計測方法は以下のとおり。

- 基本方針3-1 函館観光に関する取組みに「参加する」市民の増加
- 基本方針4 観光への理解度の向上

計測方法																								
<p>○市民アンケート</p> <p>調査対象：函館市公式LINE登録者数 31,699人（R6.8末現在）</p> <p>調査方法：LINE上でアンケートを実施</p> <p>調査時期：令和6年10月（配信から1カ月程度を回答期間とする）</p> <p>調査頻度：年に1回</p> <p>設 問：（3）市民アンケート設問（案）参照</p> <p>&lt;回答率と回答者属性&gt;</p> <p>【事例】「LINE利用者アンケート」（令和4年11月実施）</p> <p>調査目的：市公式LINEアカウント登録者を対象に、内容の満足度や追加してほしい機能などを把握するため</p> <p>調査期間：令和4年11月24日から12月7日まで</p> <p>対象人数：16,858人（11月24日時点のLINE登録者数）</p> <p>回答者数：1,110人（回答率：6.6%）</p> <p>属 性：</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"><div data-bbox="295 1400 901 1814"><p><b>年齢</b></p><table border="1"><thead><tr><th>年齢</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>19歳以下</td><td>1%</td></tr><tr><td>20歳代</td><td>5%</td></tr><tr><td>30歳代</td><td>13%</td></tr><tr><td>40歳代</td><td>22%</td></tr><tr><td>50歳代</td><td>25%</td></tr><tr><td>60歳代</td><td>21%</td></tr><tr><td>70歳以上</td><td>13%</td></tr></tbody></table></div><div data-bbox="917 1400 1428 1814"><p><b>性別</b></p><table border="1"><thead><tr><th>性別</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>男性</td><td>33%</td></tr><tr><td>女性</td><td>67%</td></tr><tr><td>その他</td><td>0%</td></tr></tbody></table></div></div>	年齢	割合	19歳以下	1%	20歳代	5%	30歳代	13%	40歳代	22%	50歳代	25%	60歳代	21%	70歳以上	13%	性別	割合	男性	33%	女性	67%	その他	0%
年齢	割合																							
19歳以下	1%																							
20歳代	5%																							
30歳代	13%																							
40歳代	22%																							
50歳代	25%																							
60歳代	21%																							
70歳以上	13%																							
性別	割合																							
男性	33%																							
女性	67%																							
その他	0%																							

## 基本方針 3-2 家族や友人、知人に函館観光を「ぜひ勧めたい」と考える観光客の増加

### 計測方法

#### ○函館市観光動向調査

調査対象：函館市内を訪れた国内観光客および外国人観光客

調査地点：市内観光地，宿泊施設，交通拠点

調査方法：調査地点を訪れた観光客に対し，QR コードを提示したアンケートの案内チラシを配布し，WEB 上のアンケートフォームにて回答を収集する。

調査期間：第一期 令和 6 年 7 月～9 月

第二期 令和 6 年 10 月～12 月

第三期 令和 7 年 1 月～3 月

第四期 令和 7 年 4 月～6 月

目標サンプル数：国内観光客 4,000 件（各期 1,000 件）

外国人観光客 1,600 件（各期 400 件）

調査頻度：隔年実施

設 問：

**【設問文】** あなたは「函館市の観光」を友人に勧めたいと思いますか。  
全く勧めたくない場合は 0 点，五分五分で判断に迷う場合は 5 点，  
ぜひ勧めたい場合を 10 点で表すとした場合，何点ですか。

**【選択肢】** 1. 0 点（まったく勧めたくない）

2. 1 点

3. 2 点

4. 3 点

5. 4 点

6. 5 点

7. 6 点

8. 7 点

9. 8 点

10. 9 点

11. 10 点（ぜひ勧めたい）

### (3) 市民アンケート設問 (案)

#### 【属性】

- |        |         |             |
|--------|---------|-------------|
| 1. 性別  | 2. 年齢   | 3. 職業       |
| ①男性    | ①19歳以下  | ①会社員        |
| ②女性    | ②20～29歳 | ②公務員        |
| ③回答しない | ③30～39歳 | ③自営業        |
|        | ④40～49歳 | ④学生         |
|        | ⑤50～59歳 | ⑤無職         |
|        | ⑥60～69歳 | ⑥その他 (自由記述) |
|        | ⑦70～79歳 |             |
|        | ⑧80歳以上  |             |
4. 居住・通勤・通学の区分
- ①函館市内に居住
  - ②函館市内に勤務
  - ③函館市内に通学

#### 【函館市民が函館観光に参加する割合を調査するアンケート】

1. この1年間で行ったことがある函館の観光地を教えてください (複数回答可)
- ①行っていない
  - ②函館山
  - ③朝市・自由市場
  - ④元町周辺 (坂道・教会群等)
  - ⑤ウォーターフロント (金森赤レンガ倉庫・摩周丸等)
  - ⑥五稜郭公園・五稜郭タワー
  - ⑦湯の川温泉
  - ⑧熱帯植物園 (サル山)
  - ⑨トラピスチヌ修道院
  - ⑩香雪園 (見晴公園)
  - ⑪縄文遺跡 (縄文文化交流センター含む)
  - ⑫その他 (自由記述)

2. この1年間で行ったことがある函館で開催されたイベントを教えてください(複数回答可)

- ①行っていない
- ②劇場版名探偵コナン公開特別イベント「函館まち巡りスタンプラリー」
- ③箱館五稜郭祭
- ④函館競馬
- ⑤函館新聞社函館港花火大会(7月中旬)
- ⑥道新花火大会(8月1日)
- ⑦函館港まつり(パレード、露店など)
- ⑧湯の川温泉花火大会(8月中旬)
- ⑨黒船サーカス
- ⑩はこだてグルメサーカス
- ⑪はこだてMOMI-G フェスタ
- ⑫はこだてクリスマスファンタジー
- ⑬その他(自由記述)

3. 日ごろから観光客に接する機会がありますか

- ①観光客と接する仕事をしている
- ②観光客と間接的に関わる仕事をしている
- ③観光客と接することはないが、よく見かける
- ④観光客と接することはないが、ときどき見かける
- ⑤見かける機会はない

4. 函館を訪れる観光客とどの程度関わりを持ちたいですか。

- ①観光に関わる仕事を通じて関わりを持ちたい
- ②観光に関わるボランティア活動やイベント等を通じて関わりを持ちたい
- ③観光地や飲食店で観光客に出会った際に会話するなどの関わりを持ちたい
- ④積極的に声をかけたりしないが、観光客が困っているときは対応したい
- ⑤なるべく観光客と関わりを持ちたくない

5. 函館の観光地や函館で開催されたイベントをSNSや口コミ等で情報発信(している/したことがある/してみたい/するつもりはない)

#### 【函館市民の観光理解度を調査するアンケート】

6. 函館市公式観光情報サイト「はこぶら」を(見たことがある/知っているが見たことはない/知らない)

7. 函館が市町村魅力度ランキングで上位に位置していることを（よく知っている／だいたい知っている／少し知っている／聞いたことがある／まったく知らない）

8. 函館観光の活性化が函館市にもたらす影響について、項目ごとに1つずつお選びください。 ※すべて5択で回答

（とてもそう思う／そう思う／どちらともいえない／あまり思わない／思わない）

- ①函館を訪れる人が増えることで、まちが活性化する。
- ②観光客向けの商品を扱う店舗が増加し、住民の日用品を扱う店舗が減少して不便になる。
- ③観光客が買物・宿泊することで、函館経済が活性化し、雇用が促進される。
- ④一部の観光地、施設およびその周辺地域に混雑が発生して住民が迷惑する。
- ⑤公共交通機関の利用が増加し、市電・バスの本数維持や増便につながる。
- ⑥市電や路線バスなどの公共交通機関や道路に混雑が発生して住民が迷惑する。
- ⑦函館の文化や歴史が国内外に発信され、函館の魅力の再発見につながる。
- ⑧食べ歩き・ゴミのポイ捨て・交通ルール違反・騒音などの観光客のマナー違反によって住民が迷惑する。
- ⑨地元食材を利用した飲食店やお土産店が賑わい、地産地消の推進につながる。

9. 今後も函館観光を活性化させるために、どのような取組みが必要だと思いますか（複数回答可）

- ①テレビ・新聞などのマスメディアによる観光客への情報発信の強化
- ②Facebook・X・YouTube・InstagramなどのSNSによる観光客への情報発信の強化
- ③市民割引の実施などの市民が函館観光の魅力を再認識する機会づくり
- ④市民と旅行者がともに楽しめるイベントの開催
- ⑤食べ歩き・ゴミのポイ捨て・交通ルール違反などの観光客のマナー違反対策
- ⑥場所・季節などの観光客の分散化
- ⑦街並みなどの景観の保全
- ⑧JR駅・空港からの市電・バスなどの公共交通の充実
- ⑨災害等が発生した際の安心安全の確保
- ⑩その他（自由記述）

10. あなたは「函館市の観光」を市外の友人・知人に薦めたいと思いますか。  
まったく薦めたくない場合は0点、五分五分で判断に迷う場合は5点、ぜひ薦めたい場合を10点で表すとした場合、何点ですか。

11. あなたの函館での推しスポット・体験があれば教えてください。（自由回答）